

## 東京大学と文京区が連携協定を締結 ——グリーントランスフォーメーションに向けた連携——

国立大学法人東京大学（以下「東京大学」）は文京区とグリーントランスフォーメーション（GX）に向けた連携に関する協定を締結しました。

東京大学は、平成17年1月に締結された「国立大学法人東京大学と文京区との相互協力に関する協定」に基づき、文京区との間に、「国立大学法人東京大学と文京区とのグリーントランスフォーメーション（GX）に向けた連携に関する協定」を締結しました。

締結式は文京シビックセンターにて、文京区長 成澤廣修（なりさわ ひろのぶ）と東京大学理事・副学長 大久保達也（おおくぼ たつや）が出席し、執り行われました。



協定締結式の様子

東京大学は2022年10月に、UTokyo Climate Actionとして2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための行動計画を策定したところです。また、文京区は2022年4月に、2050年ゼロカーボンシティ宣言を行いました。二酸化炭素排出量ゼロに向け、全体の8割以上を占める民生（業務・家庭）部門の排出量削減が喫緊の課題となっています。

文京区と東京大学はこれまでも、グリーントランスフォーメーション（GX）について様々な取り組みを協力して実施してきました。協定締結を機に、カーボンニュートラル（炭素中

立)、ネイチャーポジティブ（生物多様性）及びサーキュラーエコノミー（循環経済）を含む文京区のGX推進に向けた課題対応のための連携を進め、学術研究とその成果を社会実装することで地域課題の解決に貢献し、よりGX推進の取組を加速させていきます。

<協定内容>

1. 地域のGX推進に向けた課題対応のための学術研究の推進
2. GX推進に向けた学術研究の成果の社会実装
3. GX推進に向けた各種取組
4. その他本協定の目的を達成するために必要な事項

## G X 推進に向けた東京大学と文京区の連携

### 東京大学

- 『UTokyo Climate Action』  
東京大学が2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための行動計画
  - GX推進分科会  
2022年度よりGXの統括組織として発足
- ↓
- 基礎的学知の創出と国際的なGX先導
  - カーボンニュートラルキャンパスの実現を通じた未来モデルの提示
  - 企業・自治体・他大学・市民社会などのパートナーとの連携
  - 大規模排出事業所としての取組

### 文京区

- 2050年ゼロカーボンシティ宣言  
文京区が2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成することを宣言
  - 文京区地球温暖化対策地域推進協議会  
文京区生物多様性地域戦略協議会  
文京区リサイクル清掃審議会
- ↓
- GXに関する補助事業等施策の実施
  - 環境学習・講座等の啓発事業の実施
  - 区民・区内事業者・他自治体との協働
  - 大規模排出事業所としての取組

東大の取組3本柱  
「カーボンニュートラル」  
「ネイチャーポジティブ」  
「サーキュラーエコノミー」

地域課題の学術研究  
成果の社会実装  
GX推進の各種取組・活動

文京区の取組む3つの計画  
「文京区地球温暖化対策地域推進計画」（令和6年度改定予定）  
「文京区生物多様性地域戦略」  
「文京区一般廃棄物処理基本計画」

【本件に関する問合せ先】

東京大学本部 GX 推進課

E-mail : gx-promotion.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp